採点表

記号	審査項目	枝番	審査内容	審査要素	配点
A	組織評価	1	・本市ではCSPにAWSを利用していることを踏まえた、本業務実施において有用なクラウド関連の認定等の保有資格。 ※協力会社や系列会社等の提案者以外の事業者は含まず、提案事業者の保有資格。	企画提案書	20
B	体制評価	1	・プロジェクト人員(統括責任者、プロジェクトリーダー)は、本市以外の同規模自治体における提案システム(同一業務)の実績など、本案件を遂行する上で有効となる実績。	企画提案書	20
C	実績評価	1	・関西(2府4県)における、標準準拠版システム（障がい者福祉、児童手当、児童扶養手当）の自社での導入、保守の実績。	様式4号 実績確認書	30
		2	・大阪府下の地方自治体において、医療費助成システムの自社導入、保守の実績。	様式4号 実績確認書	30
D	機能要件評価	1	・標準準拠版システム（障害者福祉、児童手当、児童扶養手当）において標準仕様書規定のオプション機能の実装状況。	企画提案書	30
		2	・医療費助成システムにおいて、大阪府に提出する月報方式への対応に関する運用実績及びその手法。	企画提案書	30
		3	・国や府への統計資料や補助金報告資料の作成は、職員負担の少ない手法であるか。	企画提案書	30
		4	・対象者及びその世帯の受給する福祉サービス等、各種資格の保有有無は容易に参照できるか。	企画提案書	30
		5	・税、住基等関連システムのデータの連携は、職員負担の少ない形での連携が可能か。	企画提案書	30
		6	・中間サーバとの連携は、職員負担の少ない形での連携が可能か。	企画提案書	20
		7	・医療費助成システムにおいて、PMH（Public Medical Hub）への対応は、導入後早期に対応可能か。また、その対応手段は職員負担の少ないものか。	企画提案書	20
		8	・医療費助成システムにおいて、国保連合会・社会保険診療報酬支払基金等から提供されるレセプトデータを容易に取り込むことが可能か。	企画提案書	20
		9	・システム操作は、業務効率化に繋がる工夫がされているか。	企画提案書	20
		10	・非定型の入力項目および出力様式の編集が可能か。また、業務に役立つものであるか。	企画提案書	20
		11	・本市職員による汎用データ抽出（EUC機能等）が容易に行えるか。	企画提案書	20
		12	・重要機能要件に設定した事項について、対応できているか。	企画提案書	80
E	非機能要件評価	1	・システム改修や、国の法制度改正への対応方針は、市にとって有益なものであるか。	企画提案書	20
		2	・コスト最適化や継続的運用経費最適化（FinOps）等の対応方針は、市にとって有益なものであるか。	企画提案書	20
		3	・データ移行の方針は、現行データの欠損が少ない形かつ職員負担が少ない形での移行は可能か。	企画提案書	40
		4	・稼働後の保守体制（問合せ対応の流れ、障害対応、運用改善）。	企画提案書	20
		5	・その他、本市にとって有益な提案があるか。	企画提案書	30
F	価格評価	1	移行フェーズにかかる費用の総額	様式3号 見積書	60
		2	運用保守フェーズにかかる費用の総額	様式3号 見積書	90
				総点	**730**